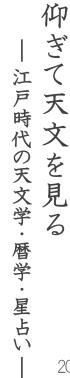
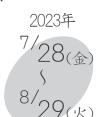
彦根城博物館だより

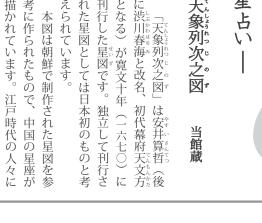


天象列次之図

となる)が寛文十年(一六七〇)に 刊行した星図です。独立して刊行さ に渋川春海と改名、初代幕府天文方に渋川春海と改名、初代幕府天文方にて象列次之図」は安井算は後

ようなものであったのです。 あるオリオン座やさそり座をはじめ とって星座とは、現代人に馴染みの 考に作られたもので、中国の星座が とした西洋のものではなく、 描かれています。江戸時代の人々に 本図は朝鮮で制作された星図を参





經費馬指定有形文化財 指定記念

5月 19日 **●** 6月

: 20 ₪

仰ぎて天文を見る - 江戸時代の天文学

暦学・星占い

企

画

展

7_月 28日

* 8月 : 29_∃

関東大震災から100年 災害と井伊家伝来資料 展 9_月 1日 10月 4_{H}

企

画

圖之次列象天

テーマ展 井伊直亮の雅楽器収集 大コレクション形成の現場― 6_月 23_日 ▼ 7_月 . 25 ⊟

木俣清左衛門家文書彦根藩筆頭家老

えられています。

展覧会 情報

展 示 案 内 2023 年 **6** つ 月

ではんもの。との出会い

常設展示

彦根藩井伊家伝来の大名道具を中心に八〇点あまりを展示

5/19 ーテーマ展 有那文化財 指定記念 展 6 示室

木俣清左衛門家文書彦根藩筆頭家老

大コレクション形成の現場

で重要な役割を果たしま た井伊家をまとめるなど、初期彦根藩 佐し、直政没後は、統率がとれなかっ であった木俣守勝以来、代々、井伊家 に仕えた家です。守勝は直政をよく補 木俣清左衛門家は、徳川家康の家臣 かとアシ

料を紹介します。 書が滋賀県の指定有形文 展では、同家伝来の古文 彦根藩を支えました。本 の変等に出陣するなど 隊を率い、幕末には禁門 を務め、軍事面でも先手 記念し、その代表的な資 化財に指定されたことを した。以後も代々家老役 ついらん かきん

徳川家康白筆書状

笙

井伊直亮の雅楽器収集 デーマ展 示 室 1

属品、伝来、伝承、金額に至るまで、豊 たっては、保存箱を作成して自ら箱書き 富な情報が記されています。保管にあ 道具帳には、楽器の仕様のみならず、附 れています。直亮自らが丹念に記録した 五〇)が生涯を通じて収集した雅楽器群 彦根藩主并伊直亮(一七九四~一八 日本屈指のコレクションとして知ら



成して整理していま し、貼札や付札を作

- 銘大信貴・ うとするものです。 ションの実態に迫ろ 直亮の雅楽器コレク 録や作品を通じて、 本展は、豊富な記

学や天文にま

戸時代の天文 を通して、江 観測器具など

◎スライドトーク ◎

北野智也(当館学芸員)

スライドトーク・

講日 髙木文恵(当館学芸員) 6月24日(土)14時~(30分程度)

場 当館講堂

■ 定 員 員 会 無料

50 名

(先着順

定参加費場

50名(先着順) 当館講堂

企画展 7/28 (金) 8/29 (火) 展示室1

仰ぎて天文を見る — 江戸時代の天文学・ 暦学・星占い-

に関する書物、 いました。本展では、古文書や天文学 陽道の影響を受けた星占いも普及して 望遠鏡も制作されました。一方で、陰 るような天文学・暦学が展開し、また 観測やそれを元にした改暦に代表され 響も受けつつ、幕府天文方による天体 ました。江戸時代には、西洋科学の影 人々は古くから天文と向き合ってき



紹介します。 つわる文化を



○ スライドトーク。

7月29日(土)14時~(30分程度)

荒田雄市 (当館学芸員

場 当館講堂

参加費 無料

定員 ・関連講座を開催します。 50名(先着順) (3頁参照

企画展

展 示室

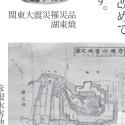
9/1 (金) 10/4 (水)

関東大震災から100年 災害と井伊家伝来資料

年の節目を迎えるにあたり、井伊家伝 横浜などに甚大な被害をもたらした、 根城下一帯も浸水した明治二十九年 れてしまいました。関東大震災から百 大震災などによって、その多くが失わ 大正十二年 (一九二三) 九月一日の関東 (一八九六) の琵琶湖大洪水や、東京や 井伊家伝来の美術品と古文書は、彦

振り返ります。 害の歴史を改めて

来資料に関わる災



彦根水害地之図

○ スライドトーク。

9月2日(土)14時~(30分程度)

場師時 当館講堂 茨木恵美 (当館学芸員)

■ 定 員

50名 (先着順)

*関連講座を開催します。 (3頁参照

金 亀 玉

金銅

鶴

磯崎家文書から見る 彦根藩船役所の業務

磯崎家文書(当館蔵、約四千五百点)

ました。現在の松原一丁目のうち彦根総 れ、平御水主と御水主小頭からなる組織 根藩では水主が二十~三十人召し抱えら る船の船頭や漕ぎ手となる水夫です。 主衆の一員でした。水主衆は藩が管理す を伝えた磯崎久左衛門家は、彦根藩の水 立て造成した屋敷地が割り当てられてい 水主衆には松原内湖に面した田地を埋め なく、足軽に近い切米扶持取の身分です。 に編成されていました。 水主衆は知行を与えられる侍の家では

> 去させている事例も確認できます。 の鷹狩りが行われる場所にある漁具を撤 に関わったりしています。他には、藩主 を把握したり、漁業をめぐる村々の争論 行いました。漁業支配としては、琵琶湖 行い、船に極印を打ち、船役銀の徴収を が大きな仕事で、また藩領内の船改めを 岸に設置される魞などの漁具の設置状況

考えられます を通じて船役所で実務を担当していたと 確認できます。磯崎家は、江戸時代後期 〆役に就任していることも、古文書から た天保十四年(一八四三)に船役所の元 船役所にも勤めていたと見られます。ま す。この残り方から、十八世紀後半には ら出された触書の控えが多く残っていま 文書には、十八世紀後半から幕末にかけ 頭役となっています。磯崎家文書中の古 から彦根藩に仕えており(「彦根藩士戸 ての、船奉行・船役所宛文書や船奉行か 磯崎久左衛門家は元禄七年(一六九四 明和七年(一七七〇)に水主小

る事例として、磯崎家文書から、幕末に しょう。 磯崎久内が関わった水難事故を紹介しま 最後に、船役所の業務が具体的にわか

ありました。そこで七日に「御船方下 近(現米原市)で強風により水に落ち行 郡三津屋村 方不明になったと村役人から藩へ届けが へ艜船で行った帰りに、 弘化二年 (一八四五) (現彦根市) 、坂田郡筑摩浦付)の情八が、長浜 四月三日、

して、

藩の各役所が使う船の手配など、松原湊 支配が主な職掌でした。船支配としては、

に係留されている藩の手船の管理・運用

項の記述)、つまり船奉行としての船支 支配」(「侍中由緒帳」舟橋源左衛門家の 奉行は「舟奉行并水主支配、浜方漁猟之奉行は「舟奉行并水主支配、浜方漁猟之

(船役所の業務)と、水主支配、漁業

務にも当たってもいました。彦根藩の船

役所で元メ役などの役に就き、役所の実

同時に、水主衆は藩の船奉行配下の船

います(彦根市指定文化財、内部非公開)。

台運動場に近い一角(水主町)がこれに

この中に旧磯崎家住宅が残って

村(現彦根市)へ派遣され、村人に大網役」として磯崎久内・栗林弥三郎が大藪 務する薬袋主計へ報告しています。 点は無いことを、南筋奉行・船奉行を兼 を呼び寄せ家族構成や当日の様子を聴取 いことを確認しています。さらに親類等 に行き、遺体に打ち傷切り傷や縄目が無 内の村を支配する筋方役所の役人が見分 かりました。それを受けて元〆役と藩領 を引かせたところ、網の中に遺体が見つ 事故による水死であり他に疑わし

とがわかります。 船役所が筋方役所 明者が出た場合は、 仕組みがあったこ 部へ報告を上げる を調査し藩の上層 と連携して、現地 この事例からは、 水難事故で行方不 後後為等後在就衛之合於 平道施を村の即れておからないなんとなるというないとなるがあるがは見るはい 移動像を放ち向うり記数小は 大きの後の後、安地とのひる 的烈豪一十一原流於公方 品見、因行品切底德自氏が 少年代村は一丁石をあるしいでは

えてくるのです。 具体的な動きが見 に残った記録を通 ます。磯崎家文書 したものと思われ から船役所も関与 大網が関わること 管轄ですが、船や 本来は筋方役所の このような業務は 船方役所の 一個人力しなありなはいなる 教者しながってはない 有いない 截年金八份任於觀寺八百百 でしばりても、唯五人なると

(荒田雄市)

御差紙写并難船之申上等留書

催

講座・

説します。の研究テーマや展示の内容をわかりやすく解 究を進めています。これらを踏まえて、自ら マや担当する展示会などに沿って、調査・研彦根城博物館の学芸員は、各自の研究テー

■演題・開催日・講師

私の研究最前線

①「菊満香―琳派に魅せられた

6月3日(土)髙木文恵(当館学芸員) 幕末の女性画家―」

2 「大殿様井伊直中と槻御殿」 7月22日(土)渡辺恒一(当館学芸員)

3 「彦根城下のなかの足軽」 8月26日 (土)

企画展 北野智也(当館学芸員)

④「江戸時代における 「仰ぎて天文を見る」関連講演会 天文の理解について」

8月19日 (土)

荒田雄市 (当館学芸員)

01114XX ● ● ぬれまち

御入部御覧留

企画展

⑤ 「災害と井伊家伝来資料」 「災害と井伊家伝来資料」関連講演会 9月16日(土) 茨木恵美(当館学芸員

①~⑤共通事項

場所 時間 当館講堂 14時~15時30分

■受付 当日受付 ■資料代 ■定員 各50名 (但し、彦根市内在住の 中学生以下は無料) 各100円

天保大雜書万歲曆

*展示の観覧には別途観覧料が必要です。

(先着順、受付開始13時30分~)

ス ケジ ュ ル **6**月~9月

3 土 闘艦 「菊満香」私の研究最前線 滋賀県指定有形文化財 彦根藩筆頭家老

■内容 文字の読み方から文章の読み方な

令和5年度 古文書のみかた 中級編

ど、より実践的に古文書を学ぶための教

■テキスト代 500円

は同程度の古文書解読力を有する方。

申込方法

①②いずれかの方法で申し込み

|開講日時 9月3日 (日)、9日 (土)、23

室「古文書のみかた中級編」を開催します。

日 (土·祝)、10月1日 (日)、8日 (日)、

②往復はがき(1人1通)の往信の裏面に ①彦根市電子申請サービスから申し込む

住所・氏名・電話番号を、返信の宛名

17 土 10 土

古文書のみかた 古文書のみかた 初級編③ 初級編②

6 月

スライドトー 井伊直亮の雅楽器収集

24 土

古文書のみかた 初級編4

1 土

「大殿様井伊直中と槻御殿」私の研究最前線

22 土

翻座 古文書のみかた

15 土

休 館

26 水

初級編写

井伊直亮の雅楽器収集 -大コレクション形成の現場-6/23 ~ 7/25

展示替により一部休室

木俣清左衛門家文書 $5/19 \sim 6/20$

指定記念

展示替により一部休室

6/21 · 22

22 日

(日) の14時~16時

当館講堂

⁷/25, 27

■内容 江戸時代の手紙の特徴や書き方に

キッズサマースクール「昔ふうの手紙を書こう!」

ついて学び、当時の作法で手紙を書いて

■対象 原則として、 ■参加費 500円

(保険料・材料代)

彦根市に在住もしく

は在学する小学生

■申込方法 ①②いずれかの方法で申し込

対象

みかた」もしくは今年度開催の「古文書

昨年度まで開催の教室「古文書の 30名 (応募者多数の場合は抽選)

|申込期間|| 7月1日(土) ~21日(金) 必着

みかた」係に郵送。

面に住所・氏名を明記の上、

「古文書の

*受講の案内は8月1日(火)以降に通知

'みかた 初級編」を修了された方、また

■定員 場所

常設展示"ほんもの との出会い

8/30 · 31 展示替により一部休室

8

19 土

闘職会

天文の理解について」「江戸時代における

6 日 5 士

キッズサマースクール

古文書のみかた

初級編6

企画展

仰ぎて天文を見る

 $7/28 \sim 8/29$

一江戸時代の天文学・暦学

30 日 29 土

キッズサマースクール

26 土

歸應

「彦根城下のなかの足軽」私の研究最前線

後の部(13時30分~15時30分)

※午前の部と午後の部は同内容です。

どちらか一方への参加となります。

当館講堂、展示室

それぞれ①午前の部(10時~12時)・②午

~3年生:8月6日

 $\widehat{\exists}$ 日

み (1人1回まで)。

②各小学校に配布および当館ホームペー ①彦根市電子申請サービスから申し込む 日程

4~6年生:7月30日

みます。

場所

講師 各部15名(応募者多数の場合は抽選) 当館学芸員

『彦根城博物館 研究紀要』第33号

刊行物

「資料紹介 彦根藩井伊家当主の外出記録 「御出留」(文化九年・十年)

「資料紹介「添乳之枕」」

9

9 土

古文書のみかた

中級編②

企画展

関東大震災から 100 年

災害と井伊家伝来資料

 $9/1 \sim 10/4$

3 日

古文書のみかた

中級編①

2 士

スライドトーク

災害と井伊家伝来資料

16 土

闘職会

「災害と井伊家伝来資料」

古文書のみかた

中級編③

「古文書のみかた」は事前申込制です。

B5 判 64ページ

•

*当館ミュージアムショップにてご購入い 22-6100 は、ミュージアムショップ (0749-ただけます。郵送での購入をご希望の方 へお問い合わせください。

■内容

となる場合があります。最新の情報は、彦根市や当館のホームページ、ツイッター等でご確認ください。現在、開催を予定している展示・講座等は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、中止 開催を予定している展示・講座等は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、中止



彦根城博物館

| 再込期間 | 6月1日(木)

23日(金)必着

し、持参もしくは郵送。

申込用紙に必要事項を記入

ジに掲載する案内チラシの

〒522-0061

滋賀県彦根市金亀町1番1号 TEL 0749(22)6100 FAX 0749(22)6520 https://hikone-castle-museum.jp/

